

平成 22 年度第 1 回経営審議会議事録

平成 22 年度第 1 回公立大学法人宮城大学経営審議会	
日 時	平成 22 年 6 月 16 日（水）午後 1 時から午後 3 時まで
場 所	宮城大学大和キャンパス 本部棟 4 階 応接会議室
出 席 者	馬渡理事長、白石副理事長、大和田理事、武田理事、金子理事、佐々木理事、阿部委員、大山委員、佐藤委員、柳川委員、大滝委員
欠 席 者	井部委員
事 務 部 等	池戸理事、千葉事務部長、菊田参事兼総務課長、小山学務課長、真山参事兼総務学務課長、新妻財務課長、財務課辻市
議事概要	1 前回議事録確認 異議なく承認された。 2 議事録署名人の選任 大滝委員及び武田理事が選任された。 3 審議事項 (1) 経営審議会からの学長候補者の推薦について 資料 1 により、経営審議会に対して学長候補者として 2 名（西垣克氏、福西浩氏）の推薦があったことについて説明され、経営審議会から 2 名以内の推薦とされていることから、この 2 名の方を経営審議会から学長選考会議に推薦することについて諮られ、承認された。 (2) 平成 21 年度事業実績報告について 資料 2 により平成 21 年度事業実績報告書について説明があり、委員との間に次のような質疑応答があった。 ① 事業実績報告中の自己評価の「評定」は誰が携わっているのかとの質問があり、中期計画・年度計画・年度実績は理事長室において進行管理をしており、各担当部署からの自己申告を審査のうえで「評定」しているとの説明があった。 ② 評定が「Ⅱ」となっている項目の内、卒業時の満足度調査によるもの及び事業構想学部の内、卒業時の満足度調査によるものが 25%と意外に低いことについて質問があった。事業構想学部のインターンシップについては、まず教員が自ら派遣先企業を開拓し、学生に対しては事前に様々な講座を開設し、企業に迷惑をかけないよう配慮されている。また終了後には学部内発表会及び企業を招いての発表会を開催している。このような手法のため低くなっているが、食産業学部は 100%となっていることも考慮し、目標の 50%程度に近づけるよう協議しているとの説明があった。学生の満足度調査で満足度が低くても予算不足の時には評定は低くする必要がないのではないかという質問については、施設が狭いとか冬場寒いとかの問題は予算が無いと解決できないが、事務職員の学生応対が悪いとか、事業構想学部の授業に対する満足度が低いことなどは、努力によって改善の余地がある旨説明があった。

以上の説明及び質疑応答の後、本件は全会一致で承認された。

(3) 平成 21 年度決算について

資料 3 により平成 21 年度決算及び財務諸表について詳細な説明があった。これについて、説明の要点をメモで配布するとかパワーポイントを用いて説明するとか工夫がほしいという要望があった。公立大学法人会計の特殊性、とくに減価償却の手法等について補足説明がなされた。決算及び財務諸表の内容については特に質疑等はなく、この決算及び財務諸表を承認し、これを県に提出することになった。

(4) 平成 22 年度事業計画について

資料 4 により説明がなされ、委員から次のような質問があり、それぞれ説明がなされた。

①外部資金獲得金額を教員の給与に反映させることについて、教員は納得しているかとの質問について、既の実施しているが、様々な評価項目の中の 1 つで 7%程度のウェイトであり、納得を得ている旨説明があった。

②事業構想学研究科の授業の一部を仙台市内で実施するとの計画の概要について質問があり、仙台駅前のアエルにおいて夜間 15 回程度実施する社会人対応の企画であるとの説明があった。

③事業構想学部の「産業集積人材プログラム」について質問があり、3 学部でそれぞれ 45 回のシリーズ授業科目として行う「地域人材養成プログラム」の一環であり、「産業集積人材プログラム」は、仙台北部の自動車関連産業集積に焦点を合わせて人材養成を行うものである旨説明があった。

以上の説明及び質疑応答の後、本件は全会一致で承認された。

(5) 教員のテニユアトラック制への移行に関する規程について

資料 5 により説明された後、委員から次のような質問があり、それぞれ説明がなされた。

①テニユア審査のルールは決まっているのかとの質問があり、教員評価で最低評価が 2 年連続したり期間の過半になった場合には再任不可もある旨明示しているとの説明があった。

②テニユアトラック制への移行の申請者については多く期待できるか、との質問があり、8, 9 割が必要と考えていること、移行にインセンティブがあることや社会情勢等も関係しており、5 割といったことはないと思われるとの説明があった。

以上の説明及び質疑応答の後、本件は全会一致で承認された。

(6) 食産業学研究科博士課程設置申請書（抄本）について

資料 6 により説明された後、本件は全会一致で承認された。

2 報告事項

(1) 教育研究事項について

①平成 22 年度入試実績、②平成 21 年度就職実績、③平成 22 年度組織評価（案）について、それぞれ資料により報告があった。

(2) 人事事項について

①4 月 1 日の役員、教員数（学部・職務別）、事務職員数、②平成 21 年度教員人事結果、③平成 22 年度優秀教員、④平成 22 年度 4 月配置事務職員について、それぞれ資料により報告があった。

(3) 財務事項について

①平成 21 年度外部資金獲得実績、②平成 22 年度第 1 次補正予算（緊急人材養成事業）について、それぞれ資料により報告があった。

(4) その他

①卒業時学生満足度調査結果、②入学時アンケート調査結果について、それぞれ資料により報告があった。

この議事録は、平成 22 年度第 1 回公立大学法人宮城大学経営審議会の議事録である。

平成 22 年 6 月 16 日

公立大学法人宮城大学

経営審議会議長 馬渡尚憲

議事録署名委員 大滝精一

議事録署名委員 武田淳子